



The service club to the YMCA

# THE Y'S MEN'S CLUB OF TAKARAZUKA

宝塚ワイズメンズクラブ  
〒662-0977 西宮市神楽町5-23  
西宮YMCA内  
☎(0798)35-5987

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

## 宝塚ワイズメンズクラブ 2015年2月会報 第317号

### 主 題 ・ 標 語

- 国際会長(I P) Isaac Palathinkal (インド)  
主 題: "Theme:Talk Less, Do More" 「言葉より行動を」  
標 語: "Do it Now"  
「今すぐやろう!」
- アジア地域会長(AP) 岡野 泰和 (日本)  
主 題: "Start Future Now" 「未来を始めよう、今すぐに」  
標 語: "One Asia, One World" 「ひとつのアジア、世界はひとつ」
- 西日本区理事(RD) 松本 武彦 (大阪西)  
主 題: 「響き合い、ともに歩む」  
"To walk together, echoing each other"  
標 語: 「こころ豊かにワイズ活動を展開し、ワイズスピリットをつないでゆく」
- 六甲部長 多胡 葉子(宝塚)  
主 題: 「わたしとあなたのY'S ダムを YMCA と共に」  
《ユース・交流・地域》
- 宝塚クラブ会長 杉谷 和代  
主 題: 「Shareする喜びを感じよう、その輪を広げよう!」  
"Let's feel the joy of sharing. Widen the circle of it"

今月のテーマ: TOF(断食奉仕) CS(地域奉仕) FF(家庭断食)

イエスはこの群衆を見て、山に登られた。腰を下ろされると、弟子たちが近くに寄って来た。そこで、イエスは口を開き、教えられた。「心の貧しい人々は、幸いである、天の国はその人たちのものである。(マタイ5章1-3節)

### 2015年2月第一例会

日 時: 2015年2月11日(水)18:30  
場 所: 宝塚ホテル ゴールドの間  
会 費: 会員2,500円、会員外2,000円  
ドライバー 福田 肇 沢田 郁  
開会点鐘 杉谷和代会長  
ワイズソング 全 員  
聖 書 三品ミチ子  
祈 禱 若林成幸  
ゲスト・ビジター紹介  
会長・委員会報告・YMCA 報告  
会 食  
プログラム  
・京都アジア大会アピール  
・神戸 YMCA 支援オークション

誕生日のお祝い

閉会点鐘

杉谷和代会長

2014/15 役 員	会 長 杉谷和代 直前会長 石田由美子 副会長 福田宏子、石田由美子 書記 若林成幸 会 計 吉田 明、堀江裕一 会計監査 今田 稔 六甲部部长 多胡葉子 メネット連絡 今田和子 連絡主事 谷川 尚
事 業 委員長	YMCAサービス・ユース 福田宏子 地域奉仕・環境 福田宏子 EMC 石田由美子 交 流 石田由美子 ファンド 三品ミチ子 広 報(ブリテン) 長尾 亘、(HP) 長尾 亘
特別事業 委員長	NGO 鯖尻佳子 じゃがいも 福田 肇 バザー 加藤光信 市民クリスマス 若林成幸
お誕生日 おめでとう!	福田 肇(2月11日) 吉田 早苗(2月10日) 坂田 昌鴻(2月14日)
1 月 実 績	例会出席者数 24名 在籍会員数 23名 出席会員数 18名 出席率 78.2% メイクアップ(内数) 3名 メネット 2名 コメント・マゴメット0名、ゲスト・ビジター4名 BFポイント 1月 5,090円 累 計 22,740円 にこにこBOX 1月 2,000円 累 計 39,200円 物品販売累計 6,000円

## 1月第1例会報告

今年初めての例会は1月14日にゴールドの間で開かれました。参加者は21名でした。

石田由美子メンによる進行で、聖書朗読は鯖尻佳子メン、祈祷は堀江裕一メンにより行なわれました。その後、杉谷会長より報告がありました。

会食の後に、年初めの例会ということで、出席者の今年の抱負を短くそれぞれ述べました。その他、事業委員報告（ワイワイフォーラム神戸など）、神戸YMCA支援チャリティコンサート（1月24日）の案内、7月に京都で行なわれるアジア大会、YMCA報告、メネット報告、ジャガイモ完売報告、などがありました。

今田メネットの「お能」を披露していただき、お正月の例会らしい雰囲気を出していただ

きました。その後は、長尾亘メンより、パソコン教



室を開催していただき、ワイズメンホームページについて詳細な説明がありました。

最後は1月の誕生日の方のお祝いをし、会長の閉会点鐘をもって1月の例会が終了しました。

坂田昌鴻

## 会長報告

1月例会は恒例の全員新年の抱負を述べる、会長報告、委員会報告、イベント（神戸YMCAチャリティ、クラブ主催バザー等）報告など盛り沢山の報告事項があった。

1月24日の大きなイベントを終えると少しは楽になるとの思いも期待はずれで、2月～7月まで多くの行事が予定されている。

2月：他クラブイベント参加予定

3月：クラブ会長研修（次期会長を快諾してくださった鯖尻佳子さんに感謝と期待）、

「揚がれ！希望の風～宝塚から東北へ～」関連イベントのアート展、

4月：メネット事業—コンサート(4月4日)

5月：バザー

6月：西日本区大会

7月：京都アジア大会

以上、毎月押し寄せる波のごとく行事、行事の後半に向けてそれぞれ計画が必要……！

2月プログラム：

① 神戸YMCAチャリティー活動としてのオークション：多くの興味ある品物に期待が膨らむ。Bring and buy！

② アジア大会委員長森田美都子様他3名のゲストによるアジア大会PR

今月の報告で最大の朗報は我々に新メンバーが入会予定！鯖尻さんのご友人、桑原美知代さん。宝塚クラブの平均年齢を下げて下さる(?)メンの入会式は3月例会で行われる。今期のモットー「Shareする喜びを感じ、その輪を広げよう！」が一つ実を結ぶことに感謝。

多忙な後半になりそうだが2月も楽しい例会でShareの喜びを感じ、その輪を広げよう！

## 1月第2例会報告

1月21日（水）18時30分、西公民館会議室に13名が集まって活気溢れる第2例会を行った。出席者は、杉谷会長・福田宏・多胡・鯖尻・加藤・長尾・青柳・吉田・武田・石田・堀江・若林各メン及び今田メネット。

## 1. 2月第1例会 (TOF) の運営

第2例会は、既報の通り「アジア大会アピール例会」としてホストクラブから実行委員を招く。そのほか、デンマーク・ギヴクラブから送られた活動紹介ビデオを見て、最後にオークション大会を行う。この売上は神戸Y新館建設献金に用いる。TOF (Time of Fast) のため食事は軽食 (カレー)、会費メン 2500 円、ゲスト 2000 円、別に会計上@1000 円を TOF 献金とする。

出席者は、オークション出品物を忘れないように！

## 2. 新入会員について

この度、鯖尻メンから友人、桑原美知代さん (豊中市在住) の入会希望が報告され、これを承認した。3月第1例会に入会式を行う。先だって入会オリエンテーションと西日本区への申請を行うことを確認した。

## 3. ブリテン2月号について

既にブリテン委員長よりメールでの執筆要請が行われているが、記載事項と執筆担当者を確認した。なお、ブリテンが当クラブの活況を反映して記事が冗長になる傾向があり、重複記事の整理・誤字脱字の修正など、読み手への配慮が必要との認識を共有し、第1・第2例会報告以外は800字以内にまとめることを申し合わせた。また、英文ブリテンは4月に発行予定。

## 4. 六甲部行事—1/24 チャリティイベント—について

野球解説者 田口 壮氏、スーパーキッズ・オーケストラ等の出演に期待が集まり約500人の来場が見込まれる。当日は当クラブが受付業務を担当する。

## 5. 次期クラブ会長・メネット主査の選任について

杉谷会長による根回しの結果、鯖尻佳子メンが次期クラブ会長を、福田素子メネットが六甲部メネット主査を受諾された旨、報告があり、一同拍手の内に承認した。3月第2例会

にて主要役員、各委員会の構成を協議する。

## 6. チャリティーバザーについて

バザー委員長加藤メンから、第28回バザーの運営に関し、献品や協力企業の減少への対処やお楽しみ抽選券の販売増加に向けて、新たな策が必要との考えから、準備会を早期に立ち上げたい旨、主張され、3月第2例会から活動を開始することとした。

## 7. DBC・IBCについて

先に、千葉クラブや海外クラブから Brother Club への打診があったが、本年は六甲部長のホストクラブ役に専念することとし、具体的には次年度に検討する、が多数意見であった。

## 8. 西日本区大会・アジア大会の参加申込

既に各人宛に案内状が届き、また、HPにも申込要領が記載されているので、各人で申込をすること。

双方とも地元開催の特権を生かして、交流のチャンスを楽しもう。

## 9. 「揚がれ希望の凧」「きらりと輝くアート展」

多胡メンの提案。標題の2つのイベントにつき武庫川がっこう・はんしん自立の家・宝塚さざんか福祉会等の協賛を得て、3/7~3/10 宝塚西公民館ロビーにて同時開催を検討中。たこ揚げ大会は3/11 自立の家裏の河畔にて。趣旨を尊重し了承した。(実施内容は別記)

## 10. NGO 活動展

鯖尻メンの報告。宝塚 NGO 活動展が3/7~8 宝塚国際交流協会にて開催される。今回は、子どもの笑顔写真展がメインテーマ。(実施内容は別記)

## 11. 近隣クラブの例会・イベント案内

- ① さんだクラブ 2/7 (土) 14時 バレンタインコンサート入場券 1000円 8枚受持
- ③ 神戸クラブ・メネット会 50周年記念 3/14 (土) 神戸外人クラブにて
- ④ 京都トップスクラブ 20周年記念例会 4/5 (日) 10000円、京都ウェスチンホテル

12. YMCA リソースモビリゼーション研修会の開催神戸YMCAで研修が行われる。有志の参加を募る。

13. その他

- ①チェンマイ YMCA 訪日団の歓迎会 (2/7)
- ②はんしん自立の家講演会 2/15 (日) 14時
- ⑤ ユースコンボケーションに KG フラチームの有志を送ろう！と石田メンが提案。積極的に進めることを了承した。
- ⑥ 吉田メンから上期の収支状況報告があり、概ね順調に推移、に一安心。合わせて市民 Xmas 募金の配分を協議し、早速送金することを了承した。

行事が同時期に集中し超多忙に。円滑な進行を期するため、詳細は2月第2例会にて協議します。

若林成幸

[3月ゲストプロフィール]

日野原流の養生訓 津田 佐兵衛 氏

「とりあえず次の関所は100才があたりまえ」  
大正12年 10月31日 井筒八ッ橋本舗の五代目の長男として生まれる

昭和22年 京都帝国大学 農学部 農林生物学科卒業

昭和22年 " 大学院へ入学  
生物(動、植物) について、生命の起源、進化論、動物生理学、基礎医学等を研究

昭和28年 井筒五代目(父)の突然死により学業を捨てて家業の井筒八ッ橋の社長を継承  
元来ボランティア活動が好きでロータリークラブの運動には55年の実績を持っている。

平成14年 京都医師会の重鎮、多田寛氏の紹介により日野原先生の「新老人の会」運動に弟子入り

平成15年 「新老人の会」京滋支部を設立  
平成24年 京滋支部より滋賀支部を分離独立する事に協力  
平成26年 福井支部設立にロータリアンとして協力した

「2014震災YYフォーラム」に参加

2015年1月17日「2014震災YYフォーラム」が「共にいたみ、希望に生きる」と題して神戸栄光教会で開催された。今年には阪神淡路大震災から20周年を迎え、あちらこちらで大々的な周年行事が開催されている。

まず、「1.17を思い起こし、慰めの言葉を分かち合おう」という題目で開会礼拝が始まり、汐碓直美：神戸栄光教会伝道師により奨励、聖書朗読がなされた。続いて、中道基夫氏(神戸キリスト教青年会

会長)、多胡葉子氏(ワイズメンズクラブ六甲部部長)、水野雄二氏(神戸YMCA総主事)等の挨拶に続き、前神戸YMCA職員、現在日本YMCA同盟東山荘職員、佐久間眞人氏の阪神淡路大震災講話となった。



氏は被害を被りながらも、神戸のあちこちでの支援活動、特に長田区での活動を披露された。支援物資がドンドン送られてくるのは感謝であるが、それらの確認、保存、分配の方法、また被害者の方々への、アプローチ、また専門的な知識、処置をどのように専門家に繋げるかがいかに困難なことであるかを述べられ、YMCAの役目は「人と人とを繋げること」すなわち「心を繋ぐのが使命では？」と結ばれた。後、ほとんど地震を経験していないユース達との話し合いの時間が持たれ、お互いの経験談



が交わされた。その後、ユースリーダー3名より経験、感想の発表の後、「未来にむけて～今後おこりうる災害に向けて私たちが大切にすべきこと～」がグループ毎に語られ、それぞれの考え、「お互い元気で!」「それぞれの立場を考えて!」「問題を意識化する」等が黒板に発表された。

閉会礼拝では神戸雲内教会床次隆志牧師による奨励、お互いに「世界に平和!」を祈りつつ閉会となった。

今年の開会場所は、神戸三宮 YMCA 会館が建て替え工事のため、神戸栄光教会と場所を移した。ユース、YMCA 職員、幼稚園、保育所、リーダー会、ワイズメンのおよそ100名の参加で従来の YY フォーラムの形態とは異なり、厳粛な雰囲気の中での開催となった。

福田 宏子

**神戸 YMCA 支援チャリティイベント**  
すべての「いのち」が光り輝くように

素晴らしい感動が与えられたイベントに感謝

2014～15年度六甲部としての大切な事業の一つであった神戸 YMCA 支援チャリティイベントが1月24日カトリック神戸中央教会で開催された。

六甲部8クラブの応援を得て開催されたイベントは感動そのものになった。

我がクラブの石田ワイズによる洗練されたスマートな司会で始まったプログラムはまず、小学



3年生から高校3年生までで編成されたスーパーキッズオーケストラの迫力ある素晴らしい弦楽の演奏は広い会堂に美しい音響が響き渡り、聞く一人一人が吸い込まれていく演奏に誰もが惜しめない拍手が鳴り止まなかった。そしてメインの田口壮さんの基調講演はメジャーリーグで獲得された2個と1個のチャンピオンリングの輝



きが参加者全員の心に伝わる魅力的な講演であった。終わった後も田口壮さんを囲んでの写真撮影、サインの列が続いたにも関わらずすべてに暖かく対応して下さった素晴らしい人柄に一層感激だった。最後のトークセッションでは水野総主事のモデレーターのもと、YMCAでの関わりをとおり幅広い年齢層の人たちが、学校で、家庭で、地域で、職場でいのちの輝きの体験を語り合う場となった。

3時間の時間はあっという間にすぎて、約300人を越える参加者一人一人がとても豊かな時間を与えられたイベントであった。

六甲部8ワイズのメンバー、YMCA関係者（キャンプリダー、OB/OG、ボランティアのメンバー、職員）のご協力のもとに盛況に開催できた事は大きな喜びです。

神戸 YMCA が新しく変わろうとしている時期に全員がその事を覚えてイベントをとおして



すべての「いのち」が光り輝く活動を地域でより受け入れられる事に繋がればと切に思いました。  
関わって下さったすべてのみなさまに感謝いたします。

多胡 葉子

東日本大震災支援プロジェクト  
「揚がれ！希望の凧 ～宝塚から東日本へ



今年で第4回目になる東日本支援プロジェクト「揚がれ」希望の凧は以下のように実施いたします。みなさまご協力よろしくお願ひいたします。

きらりと輝くアート展（「揚がれ！希望の凧」  
プレイベント）

日時：平成27年3月7日（土）～3月10日（火）

10:00～17:00

場所：「宝塚市立西公民館」（阪急今津線小林駅から徒歩約5分）

主催：ワイズメンズクラブ（六甲部）

協力：はんしん自立の家、さざんか  
福祉会、希望の家 他

後援：宝塚市、宝塚市社会福祉協議会

内容：障がいを持たれる方々に制作頂いた  
3.11に揚げる凧、そのアート作品展示

揚がれ！希望の凧 ～宝塚から東日本～

日時：平成27年3月

11日（水）

14:00～16:00

場所：「はんしん自立の家」および「武庫川河川敷（むこにゃん広場）」

主催：YMCA、宝塚ワイズメンズクラブ、  
武庫川がっこう



協力：はんしん自立の家、さざんか福祉会、  
希望の家他

後援：宝塚市、宝塚市社会福祉協議会

内容：武庫川河川敷（むこにゃん広場）に  
おける凧揚げと「はんしん自立の家」に  
おける室内イベント開催

なお、本事業は「赤い羽根共同募金」の助成を受けて実施しています。

多胡 葉子

## 【今月のみ言葉】

イエスの山上の説教（マタイ5-7章）の冒頭には八つの幸いの言葉が記されていますが、その中でも一番最初の「心の貧しい人々は幸いである」という言葉は、特に良く知られているように思います。しかし、そのように有名な言葉であるにも拘わらず、その意味するところは必ずしも明らかではありません。何より「心の貧しい」とはどういう意味なのでしょう。明らかに肯定的な意味をもつ「心の豊かな」という表現に対して、「心の貧しい」という表現はしばしば否定的な意味でとらえられ、実際、この箇所を「精神が貧困な」「意志が弱い」というような意味で理解されている方も多いのではないでしょうか。

しかしながら、他の幸いの言葉と比較しても明らかのように、聖書の文脈ではこの表現は明らかに肯定的な意味で用いられています。ところが、文語訳聖書がこの箇所を「心の貧しき者」と訳し、その後の日本語訳聖書もこの訳語を採用してきたために、大きな誤解が生じてしまったのです。

この箇所を原典から直訳すると「霊において貧しい者」となるのですが、換言すれば、精神面において自らに欠乏を感じる、自己の無力さを自覚しているという意味になり、神に対して謙遜であるという意味に通じています。つまり、自らが弱い存在であることを覚え、自己に頼るのではなく神により頼もうとする人こそが幸

いなのであり、天の国とはまさにそのような人たちのものなのだとここでは述べられているのです。

嶺重 淑

## YMCA だより



### 1) 東日本大震災復興支援について

宝塚ワイズメンズクラブからは市民クリスマスでの献金や様々な折にご支援いただいている支援ですが、現在神戸YMCAでは、「避難家族の支援のためのプログラム」と「福島地域の子どもたちの招待キャンプ」と「避難児童のプログラム参加支援」の3本柱を中心に活動を行ってきました。すでに3年間が経とうという中で、プログラム参加支援については形を変えて行っていこうとしていますが、避難家族向けのデイキャンプや福島地域の招待キャンプ（YMCAでは「I'm a partner Camp」といって支援する皆さんを被災の皆さんの仲間としてキャンプをしています）の二つは何とか続けていきたいと、リーダーたちが中心となって募金活動など行い資金を得ながら継続しています。月日が経つ中で忘れない、ということをお大切にこれからも活動を行っていきますので、今後ともご支援ください。

### 2) 震災YYフォーラム開催

去る1月17日（土）は阪神淡路大震災20年という日となりました。そのような記念の日に、神戸YMCAでは神戸栄光教会を会場に、「2014震災YYフォーラム」が開催され、約100名のワイズメン、リーダー、職員らが集まり、記念イベントとしてプログラムが持たれました。神戸栄光教会の汐碓直美伝道師による開会礼拝に始まり、日本YMCA同盟職員で、震災当時、

神戸YMCA主事であった佐久間真人さんによる震災当時のお話、また、3人の東日本大震災復興支援ボランティアの方々からのお話を伺い、それを基にグループでの分かち合いがあり、最後は神戸雲内教会の床次隆志牧師による閉会礼拝で印象深い一日を終えました。20年前の震災をふり返りつつ、東日本大震災での活動を考える良い機会となりました。YMCAでは様々な活動をしていいますが、ぜひワイズの皆さんもそれぞれの関心に合わせご参加ください。



### 3) 今後の予定

#### 1) 今井鎮雄顧問お別れ会

昨年11月3日に召天された今井鎮雄名誉顧問のお別れ会が下記のように行なわれます。多くの方がご参加くださいますが、どなたでもお越しただいて結構ですので、ご来場ください。  
日 時：2月 8日（日）午後3：00～4：30  
場 所：ポートピアホテル「ポートピアホール」  
会 費：3,000円（4：30～の自由献花のみのご参加の場合は不要です。）

お問い合わせは本部事務局(Tel. 078-241-7201)

#### 2) YMCA リソースモビリゼーション研修会

「リソースモビリゼーション」とは「資源の活用」を意味しますが、YMCAの価値を再確認し、価値を他者に伝えることで資金や時間、能力、信頼を得ようとする考え方です。日本YMCA全体でリソースモビリゼーション活動に取り組むため、2013年度から研修が開始され、活動成功事例や課題が共有されました。今回、神戸YMCAでも学びと交わりの機会を持ちます。ご参加ください。

日 時：2月14日（土）午後1：00～4：00

場 所：神戸市青少年会館5F「レクリエーション  
ホール」(JR三ノ宮駅徒歩3分)

お申込みは本部事務局まで。

3) 神戸 YMCA サポートプログラム 20周年記  
念シンポジウム

神戸 YMCA が発達障害（当時は「学習障害」）  
のプログラムを開始して 20周年を迎えること  
を記念して、下記のプログラムが開催されます。  
ご参加ください。

日 時：2月22日（日）午後1：00～4：30

場 所：神戸市教育会館 大ホール（神戸市中央区  
中山手通4丁目）

参加費：2,000円

プログラム：基調講演「ライフステージに合わ  
せた支援とは」

講師：金 泰子氏（大阪医科大学）

パネルディスカッション

司会：竹田契一氏（大阪教育大学名誉教授）

お問い合わせは西宮ブランチ

(Tel.0798-35-5987) まで。